



**中国5県休眠預金等活用コンソーシアム**

**休眠預金等活用助成2021年度通常枠**

**オンライン説明会（島根県版）**

公益財団法人ふるさと島根定住財団

地域活動支援課

担当：森山・佐々木



# 目次

1. 公募要領等について
2. 社会的インパクト評価



# 1. 公募要領等について (島根県エリア)



# 公募要領等

(ダウンロード先URL)

<https://kyumin-chu5.npoc.or.jp/>



## ① テーマ

ITを活用した地域活性化や課題解決の仕組みや拠点づくり

## ② 解決すべき社会の諸課題

1) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況  
に直面している地域の支援に係る活動

①地域の働く場づくりや地域活性化などの課題解決に向けた取り組みの支援

②安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援



## ③ 実行団体に期待する活動概要

- (1) ITを活用した地域活性化や地域課題の解決に取り組む新たな拠点もしくはシステムを整備
- (2) 多様な主体により提案された課題解決プログラムの実施
- (3) 今後の活動を継続する上で必要な団体の組織基盤を強化する取り組み
  - ・ ガバナンス・コンプライアンス体制の構築のための組織診断
  - ・ 支援人材の確保と育成を行うプログラム等の実施
  - ・ ホームページやブログによる情報発信
  - ・ 多様な財源の確保に向けた活動

## ③ 実行団体に期待する活動概要

- 【例1】 コワーキングスペースの整備によるサテライトオフィスや関係人口の誘致
- 【例2】 スマートフォン向けアプリを活用したまち歩きイベント
- 【例3】 ITを活用したフードドライブ及びフードバンクの仕組みづくり
- 【例4】 プログラム言語が学べるフリースクール
- 【例5】 eスポーツを通じたシニアの元気づくりや障害者支援

## ④ 事業期間

資金提供契約日（2022年4月頃）～2025年2月（最長）

原則として3年間の事業を想定します。

3年未満の事業期間で申請することも可能ですが、  
十分なアウトカム（成果）を達成することが求められます。

## ⑤ 採択予定実行団体数

1団体

## ⑥ 総事業費

20,000,000円

## ⑦ 1団体あたりの助成額（上限及び目安）

	助成金	評価関連経費	年度計
2021年度	14,000,000円	700,000円	14,700,000円
2022年度	4,000,000円	200,000円	4,200,000円
2023年度	2,000,000円	100,000円	2,100,000円
総額	20,000,000円	1,000,000円	21,000,000円



## ⑧ 対象となる団体

島根県内に活動拠点を置き、島根県内で民間公益活動を行う団体で次の条件を満たすこと。

- ・本テーマに関する一定数以上の参加者または利用者を有し、島根県内で本テーマに関する活動実績を有する団体。
- ・組織基盤の強化や事業の見直しなどに取り組む意思をもつ団体であること。
- ・行政機関からの委託または補助事業のみに取り組む団体でないこと。
- ・法人格の種類は問わない（任意団体でも申請可能だが、事業実施期間中に法人格を取得すること）。
- ・多様で複数の組織、団体に関わる事業（いわゆるコレクティブインパクト型事業）を優先する。

## 助成申請書 別紙 1

### 欠格事由に関する誓約書（公募要領p17）

- \* 宗教、政治、暴力団、禁固等

## 助成金申請書 別紙 2

### 業務に関する確認書（公募要領p32）

- \* 配偶者又は3親等内の理事 3分の1
- \* 他の同一の団体の理事 3分の1
- \* 行政機関からの指導

## 助成申請書 別紙3

### 情報公開同意書（公募要領p24）

- \* 申請団体情報の公開（団体名・所在地・申請事業名と概要）
- \* 採択団体情報の公開（上記+選定過程・理由、助成総額等）

## 助成金申請書 別紙4

### 申請に関する誓約書（公募要領p23）

- \* 同一事業について、他の資金分配団体の公募に申請しない
- \* 国又は地方公共団体からの補助金等を受けていない

# 助成申請書 別紙5

## 事務局ヒアリング（公募要領p20）



	午前 (10～12時)	午後① (13～15時)	午後② (15～17時)	夜間 (17～19時)
2/21(月)				
2/22(火)				
2/23(水)				
2/24(木)				
2/25(金)				
2/28(月)				
3/1(火)				
3/2(水)				
3/3(木)				
3/4(金)				

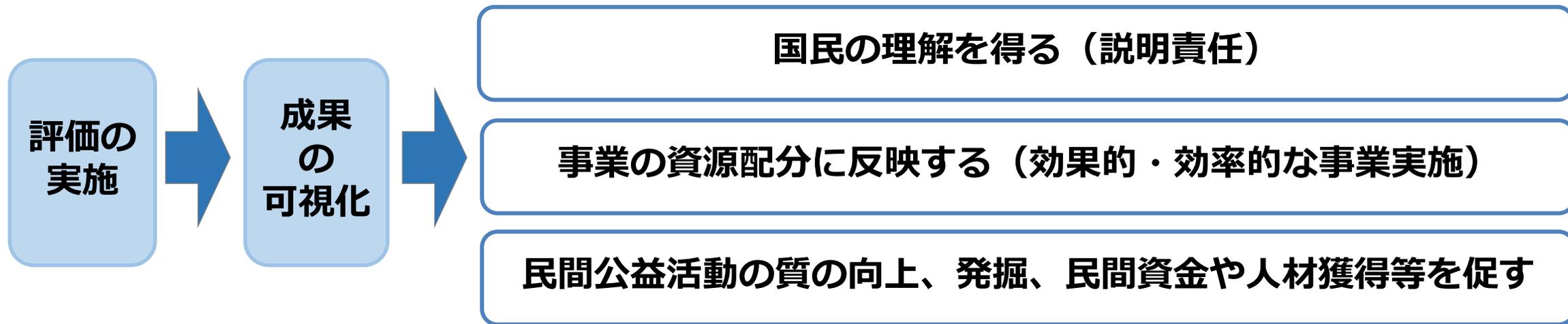


## 2. 社会的インパクト評価



## 休眠預金活用における評価の意義・目的

休眠預金は国民の資産であり、その活用にあたっては、最終的に社会の諸課題の解決を図るという「成果」を国民に目に見える形で生み出すことが求められる



### ● 全ての団体の活動と成果を可視化

→ **社会インパクト評価（自己評価を基本）** 実施のための「**評価指針**」を策定

（2019年7月）



# 本制度での社会的インパクト評価の定義

「社会的インパクト評価」とは、短期、長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的、環境的な「変化」や「便益」等の「アウトカム(短期・中期・長期)」を 定量的・定性的に把握し、当該事業や活動について価値判断を加える（評価を行う）こと （基本方針より抜粋）

## ◆ 「アウトプット」と「アウトカム」

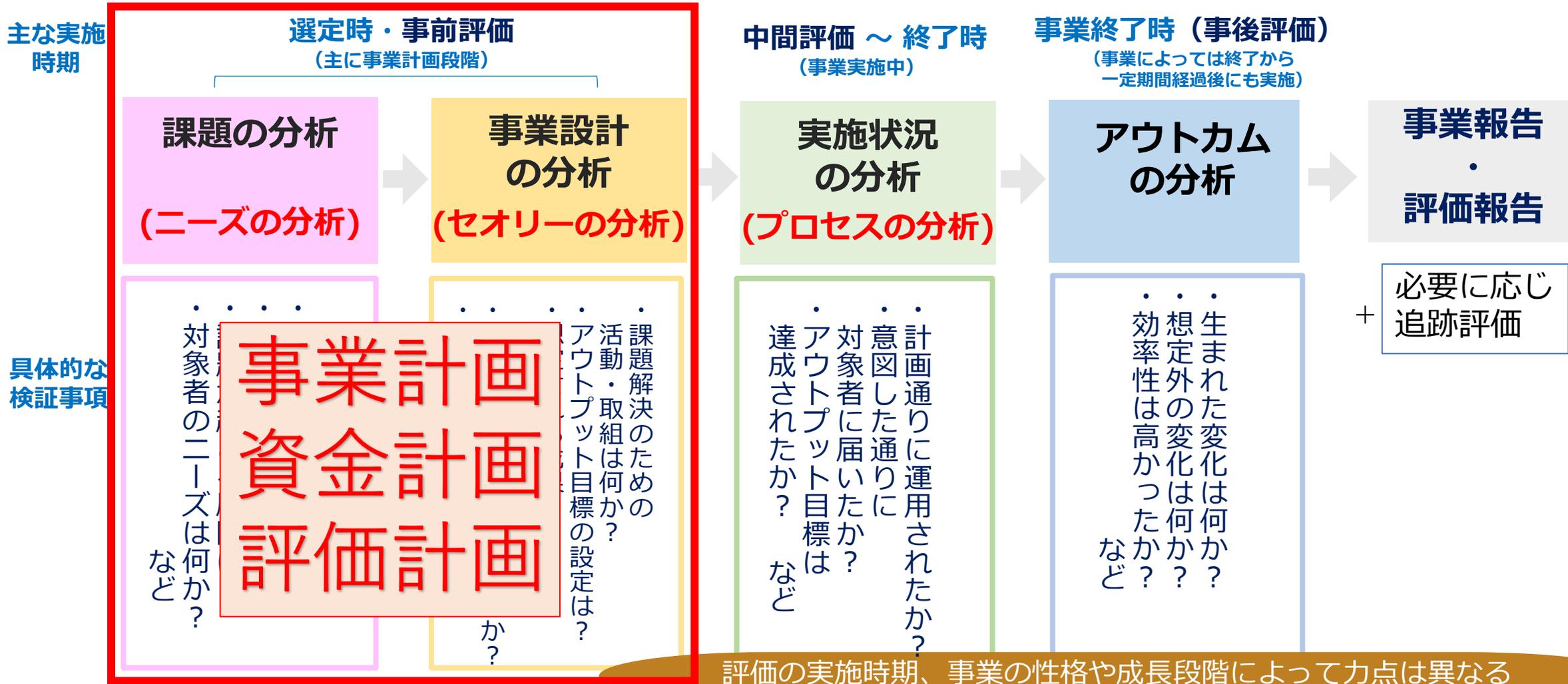
アウトプット（結果）	事業の実施により生み出された「結果」
アウトカム（成果）	事業の実施によるアウトプットがもたらす「便益」や「変化」





# 本制度の社会的インパクト評価（アウトライン）

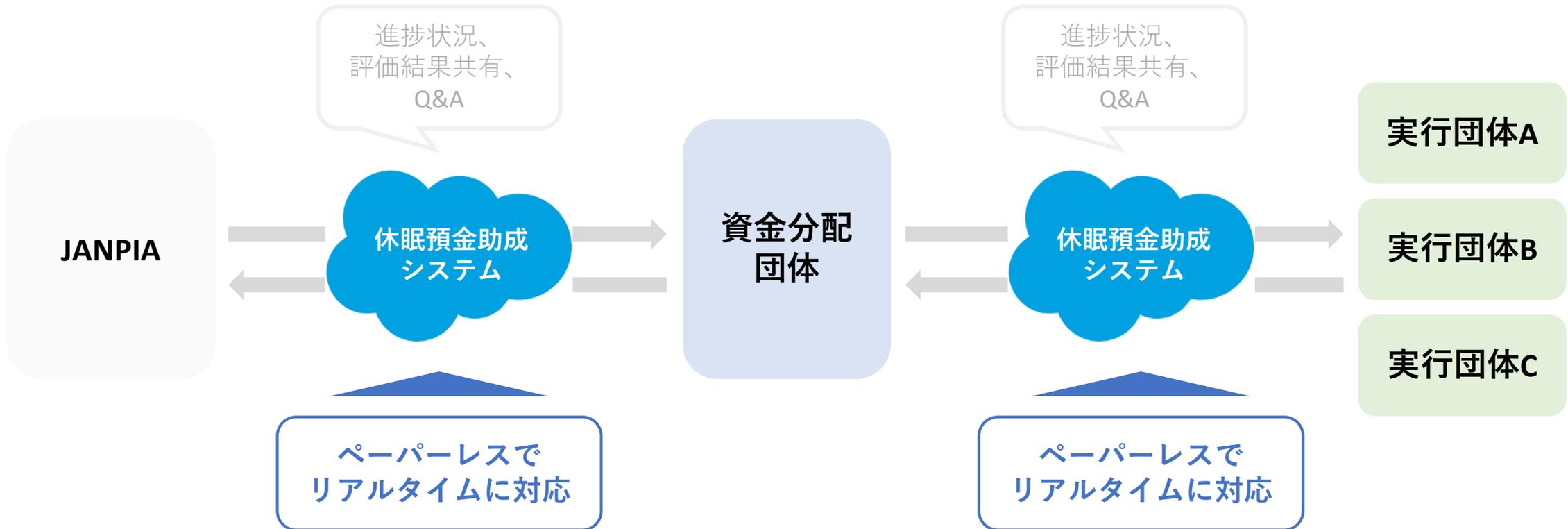
## 「社会的インパクト評価」の対象範囲



# 休眠預金助成システム（セールスフォース）概要



- システムを利用して、事業の進捗状況や評価結果を一元管理しリアルタイムに共有することで、より効果的な事業運営を目指す。システム利用開始後、資金分配団体とのやり取りは基本的にシステム上で行う。



※参照

- 「休眠預金等交付金に係る資金の活用に関する基本方針（平成30年3月30日内閣総理大臣決定）」 [https://www5.cao.go.jp/kyumin\\_yokin/](https://www5.cao.go.jp/kyumin_yokin/)
- 「2019年度事業計画（JANPIA）」 <https://www.janpia.or.jp/about/information/plan.html>



ご不明な点がありましたら、何なりとお申し付けください。

公益財団法人ふるさと島根定住財団

担当：森山・佐々木

**TEL:0852-28-0690**